



作業前に必ずお読みください

- サスペンションは重要保安部品です。交換・取付作業は必ず陸運局認定の整備工場で行って下さい。交換に伴う不具合により発生した事故等につきまして、弊社は一切の責任を負いかねますので御了承下さい。
- サスペンションの交換作業は自動車メーカーが発行しているサービスマニュアルに従って行って下さい。また取付前に車への適合を必ずご確認ください。
- 当製品は各車種毎の専用設計をしております。適応車種以外への取付、取付位置の変更、製品の改造・加工は保安基準に適合しなくなりますので絶対にお止め下さい。もし製品を改造・加工してトラブルや事故が発生しましても弊社では一切の責任を負いかねます。
- 走行直後の交換作業はサスペンション・ブレーキ周辺が非常に高温になっており大変危険です。交換作業は必ず車両が十分に冷えてから行って下さい。
- 取り付け車両の状態や個体差により、同じ調整をしたとしても左右均一に車高が下がらない場合があります。
- 装着車両のコンディションにより、ナット・ブラケット等の装着物が再使用出来ない場合があります、その際は適切に取り付けが出来るように純正パーツを揃えてから取り付け作業を行って下さい。破損パーツがある状況で本製品を組み付ける行為は大変に危険で、トラブルや事故の原因となります。
- サスペンションを分解する事でホイールアライメントが必ず狂います、本製品を取り付け後には必ずホイールアライメントの計測・調整作業を行って下さい。
- 走行中に異常や異音を発生した場合は、直ちに車を停車し異常箇所の点検を行って下さい。
- 取付の際、ご質問、不安な点等がございましたら販売店又は弊社までお問い合わせ下さい。

製品を安全にお使い頂く為に

- サスペンションキット付属品を切断したり、熱を加えたり、再塗装したりしないで下さい、製品を正しいスペックでお使い頂けなくなりトラブルの原因となります。
- 工具で製品を叩いたり、つかんだりしないで下さい、錆が発生したり、確実な取り付けが出来なくなる可能性があります。
- バンプストップラバーを切ったり外したりすると、異常ストロークの原因となりダンパーを破損する可能性があります。
- 品質には万全を期しておりますが、取付前に商品に異常がないかご確認ください。

サスペンションキットは車高の調整・スプリングのレート変更を目的で開発されています。特に車高が下がった事でサスペンションストロークがスタンダード時よりも減少するため、定員乗車状態や積載荷重量が過多の際にはフルバンプ状態となる事があり、その場合にボディやその他周辺箇所にタイヤ等が干渉する可能性がある事をご理解下さい。

コイルスプリングは工業製品であり基本的に消耗品となります、正し取り付けをされたとしても、経年劣化でスプリングがヘトリ車高の変化、パネレートの変化があり、新品時の性能を失う場合がある事をご理解下さい。

取り付けに際しての注意点

本書記載部品以外は、必ず自動車メーカー作成の整備要領書に従ってください。上部取付け用ナットは、車両メーカーの純正品をご使用ください。適合品以外のショックアブソーバーを取付けると破損したり、ハンドリングに悪影響を及ぼし、重大な事故につながる恐れがあります。必ず用途、各車種の適合品を確認の上取り付けてください。

取付け作業の際は、必ず車両をジャッキアップポイントで持ち上げ、リジトラックで確実に固定してください。

固定が確実でないと作業中に車両が傾き、思わぬ怪我の原因になりますのでご注意ください。

当製品は一部車種を除いて、ショックアブソーバー、スプリング、スプリングシート、アッパーマウントが仮組状態で出荷されています。取付け前及び取付け後に別紙基準寸法表に従い各部のトルクチェックを行なってください。行なわない場合、各部に緩みが発生し重大な事故につながる恐れがあります。

交換は必ず左右セットで行なってください。左右セットで交換しない場合、ハンドリングに悪影響を及ぼし重大な事故につながる恐れがあります。

装着後は急激な操作を避け、速度を抑え 100km 程度のならし走行を行って下さい。内部の馴染みを良くする事により、製品寿命を長くすることができます。ショックアブソーバーの変更に伴う車両の一般公道での運行は下記の法令を必ず満たして下さい。下記条件を満たしていない場合は、道路交通法第 62 条の整備不良として法律により処罰されますのでご注意ください。

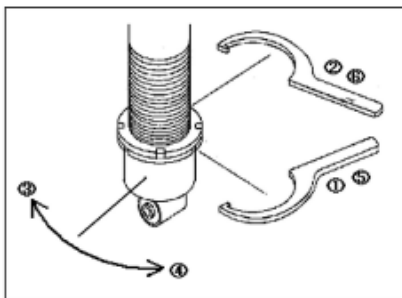
・「法律で定める最低地上高 (9cm 以上) の基準を満足し、かつスプリングが遊ばないこと。」

本製品は走行性能を向上させるための物であり、ノーマル時と比べ、乗り心地の変化や、各部作動音（ショックアブソーバーのシュッシュ音、キューキュー音、アッパーマウント周辺のコトコト音等）が発生する場合がありますが性能上問題ありません。各部を規定トルクで締め付けてあることを確認の上ご使用下さい。製品には万全を期しておりますが、正しい取扱いをしていただいても、運転状況やその他の原因により破損、損傷する恐れがあります。

万が一、不具合が生じた場合には、状況により無理に走行せず直ちにご購入の販売店にご相談下さい。

当製品は基本的に消耗品です、経年変化により劣化や作動音が大きくなる事が生じる場合があります。このような場合は速やかにご購入の販売店へ相談して頂き、本来の性能が損なわれている場合には直ちにオーバーホール・点検をして頂くようお願い致します。

車高調整と全長の調整方法



- ①付属の引っ掛けレンチでボディを押さえ、もうひとつの引っ掛けレンチで上部ロックナットを緩める。
- ③車高を上げたい時は③の方向にボディを回す。
- ④車高を下げたい時は④の方向にボディを回す。
- ⑤付属の引っ掛けレンチでボディを押さえます。
- ⑥後ひとつの引っ掛けレンチで上部ロックナットを締める。

スプリング側の車高調整は、ジャッキアップ時にロアシートを上げていきスプリングにプリロードがかからない状態でセットするのが基本セットアップとなります（通称ゼロタッチ）

ロワシートでプリロードを掛けすぎると乗り心地が悪化し、本来の特性となりませんので、車高調整は基本的にダンパー側の全長調整で行ってください。

リヤの車高はロワシートでの調整になりますので、プリロードをかけて車高調整を行って下さい。

ダンパーの全長調整で車高を調整する場合、ダンパーがボトムブラケットに最低でも 70mm はかみ合っている事を確認してお使いください。

この部分のかみ合いが不足しますと、ダンパーの強度が低下して事故や本体が破損する原因となります。

ダンパーの車高調整機構は定期的な点検を必ず行ってください。

走行時の振動で緩む事があります。ロックナットを締め付け時の目安は、手で仮締めした所からレンチで更に約 15度締めこんだ位置が適正地となります。

減衰力の調整方法

サスペンションキットには前後 20 段階の減衰力調整機構を備えています。

調整のノブは、フロントはボンネット内のタワーバーの付け根に隠れるような形でレイアウトされています。リヤはトランクの内張の中になります（内張の取り付けを一部外しておく調整がスムーズだと思います）

調整方法は、調整ダイヤルを一番締めこんだ状態から緩めていく「カチカチ」という手応えをクリック数といい、ダンパー調整の名称となっています。20 段階の調整機構ですが、20 クリック以上カウントでき、左右でクリック数が異なる場合がありますが、構造上必ずでる事で商品に問題はありません。20 段階までをクリック数としてカウントしてお使い頂けたらと思います。

> 推奨クリック

買い物から高速道路等のストリートメイン フロント：15 リヤ：15

ワインディングを軽快に走りたい フロント：7 リヤ：7

> デモカー 304・306 サーキットアタック時のクリック

筑波サーキット・コース 2000 フロント：6 リヤ：4

富士スピードウェイ レーシングコース フロント：3 リヤ：4

> 推奨アライメント（個体差により上記数値にならない場合もあります。）

■デモカーのアライメントセットアップ

キャスター：	+6.2°	↑	+6.2°
キャンバー：	-2.9°		-2.9°
トール：	+0°02	(+0°0)	+0°02
キャンバー：	-3.5°		-3.5°
トール：	+0°05	(+0°0)	+0°05

■ストリートセットアップ

キャスター：	+6.2°	↑	+6.2°
キャンバー：	-2.0°		-2.0°
トール：	+0°10	(+0°20)	+0°10
キャンバー：	-2.5°		-2.5°
トール：	+0°10	(+0°20)	+0°10

本書に記載の取り付け要綱と注意事項をご理解いただき、安全に本製品をお使い下さい。

弊社製品のお買い上げありがとうございました。

発売元

有限会社デュークス 〒151-0064 東京都渋谷区上原 1-13-9 TEL：03-5738-7573 FAX：03-5738-7574

mailto：contact@threehundred.jp WebSite：https://www.threehundred.jp